

事務事業名		放課後児童クラブ室創設事業(すみれクラブ)				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	安全安心な暮らしを支えるまちづくり				所属課	保健福祉課	担当	子育て支援担当	
	施策名	子育て支援の充実				課長名	柿沼 勝廣	担当者名	斎藤 久美子	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等	放課後児童クラブ室整備費補助金交付要領	
		1	3	2	1	1	児童福祉管理費			
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 現在、放課後児童クラブ室の受入は、定員に余裕がある場合のみ4年生までの受入を行っているが、保護者からは小学校6年生までの受入拡大の要望がでている。すみれクラブの現在の施設(旧船生支所)での受入においては、放課後クラブ室に合わせた施設ではなく、施設の老朽化が激しく、利用児童の保護者からも改善等の要望がでている。また、平成27年度から子ども・子育て支援制度において、放課後児童クラブの受入を小学校6年生までが対象となることから早急に受入施設の整備が必要となっている。</p> <p>一方で船生小学校においては、特別支援教室がなく現在も1名が玉生小学校に通っている状況で、3名以上が在籍した場合には、教員も配置になるため教室の整備が必要。特別支援学級が設置されるまでは、特別教室として多目的に利用する。今回、これらを合わせて船生小学校敷地内校舎西側に建築、トイレ玄関廊下等の共有を図ることで、コストを削減する。特別教室については、学校教育課所管とし、公立学校施設(8282千円)整備費補助金を活用して建設する。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 新築工事費80, 103, 000円 (保健福祉課分:60, 213, 480円、学校教育課分:19, 889, 520円) 県補助金 (保健福祉課分:最高でも15, 704, 000円 ただし、平成27年2月の県議会での当初予算議決後に補助の有無、補助金額が決定するものである)</p>								

(1) 事務事業の目的と指標			
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	放課後児童クラブ室(すみれクラブ)新築	➡	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 放課後児童クラブ室の新築 箇所 イ
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	設置学区の利用希望児童	➡	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 施設利用希望者数 人 イ
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	児童健全育成及び保護者が安心して働ける環境づくり	➡	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 施設利用児童数 人 イ

(2) 指標・総事業費の推移								
		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 箇所		1				
	イ	実績値 箇所						
対象指標	ア	目標値 人		55	50	45	45	35
	イ	実績値 人						
成果指標	ア	目標値 人		40	40	35	35	30
	イ	実績値 人						

計画		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円		8,282			
	財源内訳	県支出金 千円		15,704			
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円		56,117			
		事業費計(A) 千円	0	80,103	0	0	0

実績		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					
	財源内訳	県支出金 千円					
		地方債 千円					
		その他 千円					
		一般財源 千円					
		事業費計(A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的 妥当性 評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	放課後児童の健全育成と仕事への両立への支援事業であり、公共関与は妥当である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性 評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	現利用者を含め、受入拡大の要望があり、平成27年度からの子ども・子育て新制度においても小学校6年生までの受入を実現することが盛り込まれている為。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性 評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	新築工事については、委託等による削除効果が期待できる事業規模・内容ではない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性 評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	学区内においての新築であり、利用希望者の公平化に努めたものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 26 年 10 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業